

## 令和7年度 中城御殿跡地整備検討委員会（第2回）議事要旨

日時：2026年1月28日（水）14：00～16：00

場所：沖縄県市町村自治会館4階第5・第6会議室

### 1. 発掘調査について

- ▶敷地南東隅の盛土があるところは、今回の整備で発掘調査が必要である。上之御殿を整備する前に遺構についての情報を委員会に提供できるように、県は埋蔵文化財センターと調整をして、事前に調査していただきたい。（委員）
  - ▶盛土となっているところの発掘調査の必要性について、文化財課や文化庁と相談しながら進めていきたい。（事務局）

### 2. 中城御殿の外観ディテールについて

#### 【御内原エリアの外壁の再現】

- ▶外壁の再現（建具のあり・なし）については、史料があり確認できる部分と確認できない部分がある。確認できない部分については、建具を設置しない事務局案とする。（委員）

#### 【増床部の外観ディテール】

- ▶瓦石垣は建築の付属物ではなく、外構に設けるものである。A案（増床部の外壁に瓦石垣を表現）とした場合、往時からこのような仕上げがあったと勘違いされてしまうことから、B案（増床部の外壁に瓦石垣は表現しない）とする。（委員）
- ▶B案の150mmの出っ張りはなぜか。（委員）
  - ▶当初、瓦をのせるために計画されており、一部施工済みのところがあるため、この表現としている。今後対処法を検討していきたい。（事務局）
- ▶増床部分の外壁の仕上げは、今回の結論を踏まえて一つになるのではないか。（委員）
  - ▶往時なかった部分のため、区別がつくように左官調仕上げとする。（事務局）

#### 【外装化粧木の腐食防止対策】

- ▶目透かしで水抜きをすることは、腐食防止の有効な方法だと考えることからA案が良い。（委員）

#### 【赤瓦の文様・寸法】

- ▶金型は首里城と同じものを使うが、既成瓦と同じような作り方であれば、色や艶は既成瓦のようなものになるのか。（委員）
  - ▶色味は既成瓦と同じになる。（事務局）
- ▶中城御殿の瓦の中には、首里城の瓦と同じ型をモデルにつくった金型で製作した瓦もいくつかあった。首里城と共通しているというのは間違いないため、首里城正殿の金型を活用す

るのは問題ない。ただ、中城御殿の特徴となるタイプDの軒平瓦は、場所によっては木型でもいいので作ってはどうか。瓦は傷んで差替えることもあるので、将来的に往時に近づけるようにしていくという方法もあると思う。(委員)

- ▶表御殿東側エリアは、木造で往時の姿を復元する予定なので、瓦についても往時のものを復元できるような取組は必要だと思う。(委員)
- ▶象徴的な部分である正門は、古写真で具体的に瓦の種類が分かるので、検討してもいいのではないか。(委員)
  - ▶御内原エリア・表御殿西側エリアは、正殿の金型を利用し、表御殿東側エリアや正門は、今後検証して提案していきたい。(事務局)

#### 【監視カメラ配置の見え方、屋外消火栓の色調、設備フードの見え方】

- ▶監視カメラは、写真を撮ったときに(壁面に)馴染む色としたい。色の調整をしてほしい。(委員)
- ▶屋外消火栓の位置について、正門左手スロープ付近のものは瓦石垣の高さよりも飛び出しているため位置を調整することは可能か。中御庭に向かう通路入隅の消火栓も窓のないところに移動できるかどうか調整してほしい。上之御殿側の建物側に配置されている消火栓は、上之御殿から見たときに機器が目立つため、瓦石垣側に寄せられないか。(委員)
- ▶屋外消火栓の色は、大きなサンプルを使って色調を確認し、少し暗めの色を選定いただきたい。(委員)
- ▶設備フードの見え方について、増築部分に一つだけ設備吸排気フードがあるため、ルーバー側に移動可能か。(委員)
  - ▶屋外消火栓、設備フードの位置については、設備と確認する。色については、サンプルを用意して検討する。(事務局)
- ▶ルーバーは、スライドして開け閉めできるのか。雨が吹き込んで入ってくるのは防げるのか。(委員)
  - ▶高所にあるため、手動の開閉操作は難しい。24時間換気が行われている換気用フードもあり、閉めることができない部分もある。雨の進入は、中にフード付きのガラリがつくため、問題ないと考える。設備フードの個数が少ないため、木格子の間隔を密にするなど有効な開口幅となるよう現場と調整しながら調整したい。(事務局)

### 3. 上之御殿エリアの整備について

- ▶(東側擁壁付近の新たな遺構について)排水路は大きな石を使い、立派な構造物になっていた。人が入れるくらいの大きさであった。そのまま公開することができれば、敷地の高さが往時の地面よりどのくらいかさ上げしたかがよく分かる。しかし、排水の問題を解決しなければ難しいところもある。(委員)
- ▶機能上、給水路なのか、排水路なのか。(委員)
  - ▶石階段や西側石牆からも岩の下方へ勾配がかかっており、基本的には排水機能を持つと考えられる。(事務局)

#### 4. 龍潭周辺整備について

##### 【龍潭線の中城御殿側歩道照明】

- ▶歩道照明について意見なし。
- ▶過年度に龍潭線に信号機の追加設置が必要ではないかという意見があったが、警察との調整の進捗状況はいかがか。(委員)
  - ▶那覇署に中城御殿の整備計画について情報共有はしている。人の往来が多くなるので、引き続き那覇署と調整していきたい。(事務局)
  - ▶景観上、信号機の設置位置は重要なので、取付位置の調整もお願いしたい。(委員)

##### 【松崎馬場整備】

- ▶松崎馬場の樹木管理について、伐採を予定している 11 本はどのような樹木で、なぜ伐採するのか教えていただきたい。(協力委員)
  - ▶松崎馬場については、段階的に整備となり、大きい樹木は 10 年後に伐採する。樹木は、デイゴやガジュマル、アカギなど比較的大きめの木となっている。(事務局)
  - ▶公共空間における樹木管理は、植えて伐採するというかたちで段階的に更新するという取組は、他の公園でも参考になる。(協力委員)
- ▶松崎馬場は、東側にもう一つ石積がある。国学及び首里孔子廟跡といった歴史遺産があり、道路の跡も見つかっている。そのことについても文化財課と調整して進めてほしい。(委員)
- ▶往時の道跡は、発掘で確認できた場所は埋め戻したあとで、そこに遺構があったことが分かるように示す工夫が必要ではないか。(委員)
  - ▶排水の側溝の跡も出てきているので、これも含めて遺構表現を考えていきたい。(事務局)

##### 【世持橋勾欄整備】

- ▶世持橋の彫刻は龍潭の面も行うのか。北側の欄干は作成するのか。(委員)
  - ▶彫刻は、両面に施されている。龍潭側の欄干のみ設置することを考えている。北側欄干は、道路の真ん中にあたるので、設置は難しいだろうと考える。(事務局)
- ▶世持橋の下に回ると世持橋の下から龍潭を覗けるようになっているが、文化財課はあの場所は調査したのか。(委員)
  - ▶過年度報告書によると、水路の石積は写真測量が行われている。道路幅員を拡張した部分は、現代工法で整備されているが、往時の石積はまだ残っている状態である。(事務局)
- ▶世持橋の解説板の計画はあるか。小学生が多く通るところなので、子どもにも分かりやすい解説板を設置した方が良い。(委員)

以上